

静岡市景況調査

< 2024年2月調査結果概要 >

2024年3月
静岡市経済局商工部
産業政策課

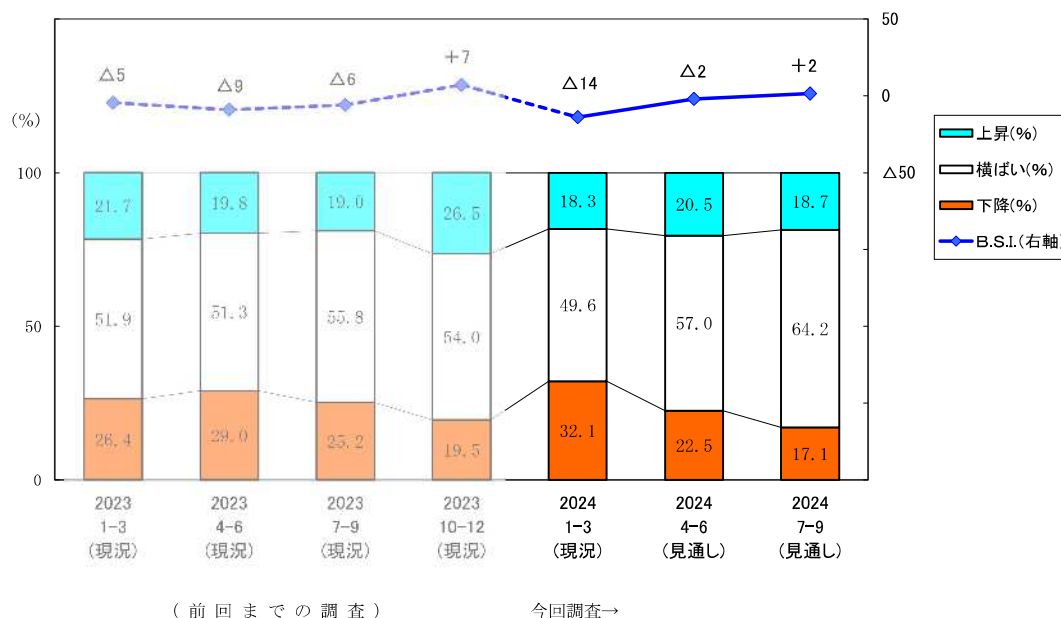
景気概況

静岡市内企業・事業所の現在（2024年1～3月）の景況判断をみると、B.S.I.は $\Delta 14$ と、前回調査（2023年10～12月： $+7$ ）から大きく悪化し、「下降」判断となった。

業種別にみると、製造業（同： $+3 \rightarrow \Delta 17$ ）、非製造業（同： $+9 \rightarrow \Delta 12$ ）と、ともに「下降」判断となった。

来期（2024年4～6月）についても、B.S.I.は $\Delta 2$ と「下降」判断が続く見通しだが、来々期は $+2$ と「上昇」判断に転じる見込みとなった。

自社の景況判断



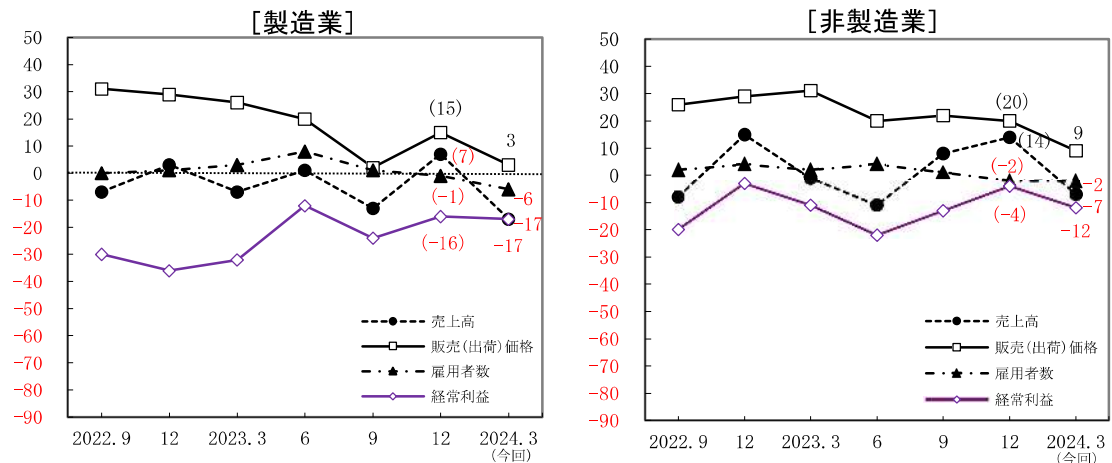
前期と比較した経営環境等の見通し

売上高が「下降」判断となり、
 原材料（仕入）価格上昇分を転嫁できず利益を圧迫、経常利益のマイナス幅は拡大

前期（2023年10～12月期）と比較した経営環境等の見通し

経営環境等		B. S. I.			全体		
		全体	製造業	非製造業	増加・上昇	横ばい	減少・下降
2024年 1～3月期の	売上高	△ 10	△ 17	△ 7	23.1	44.1	32.8
	販売数量	△ 15	△ 21	△ 12	19.9	45.2	34.8
	受注額	△ 16	△ 22	△ 14	19.4	45.1	35.4
	設備投資	△ 2	△ 11	+ 1	13.5	70.7	15.8
	金融機関借入	△ 9	△ 7	△ 10	8.0	74.9	17.1
	経常利益	△ 13	△ 17	△ 12	20.4	45.9	33.8
2024年3月末の	販売(出荷)価格	+ 7	+ 3	+ 9	21.5	64.4	14.1
	原材料(仕入)価格	+ 46	+ 40	+ 48	50.0	45.7	4.3
	製品(商品)在庫	△ 1	△ 4	+ 0	10.3	77.9	11.6
	雇用者数	△ 3	△ 6	△ 2	7.0	82.9	10.1

主要な項目別 B. S. I の推移



本調査は、静岡市内における企業・事業所の景況感等の動向を把握し、適切かつ効果的な施策を推進するための基礎資料として活用することを目的とする。

調査対象：静岡市内に立地する企業・事業所 1,000 先

調査時期：2024年2月

調査方法：郵送およびWebによるアンケート調査

回答企業数：390 先（回答率：39.0%）

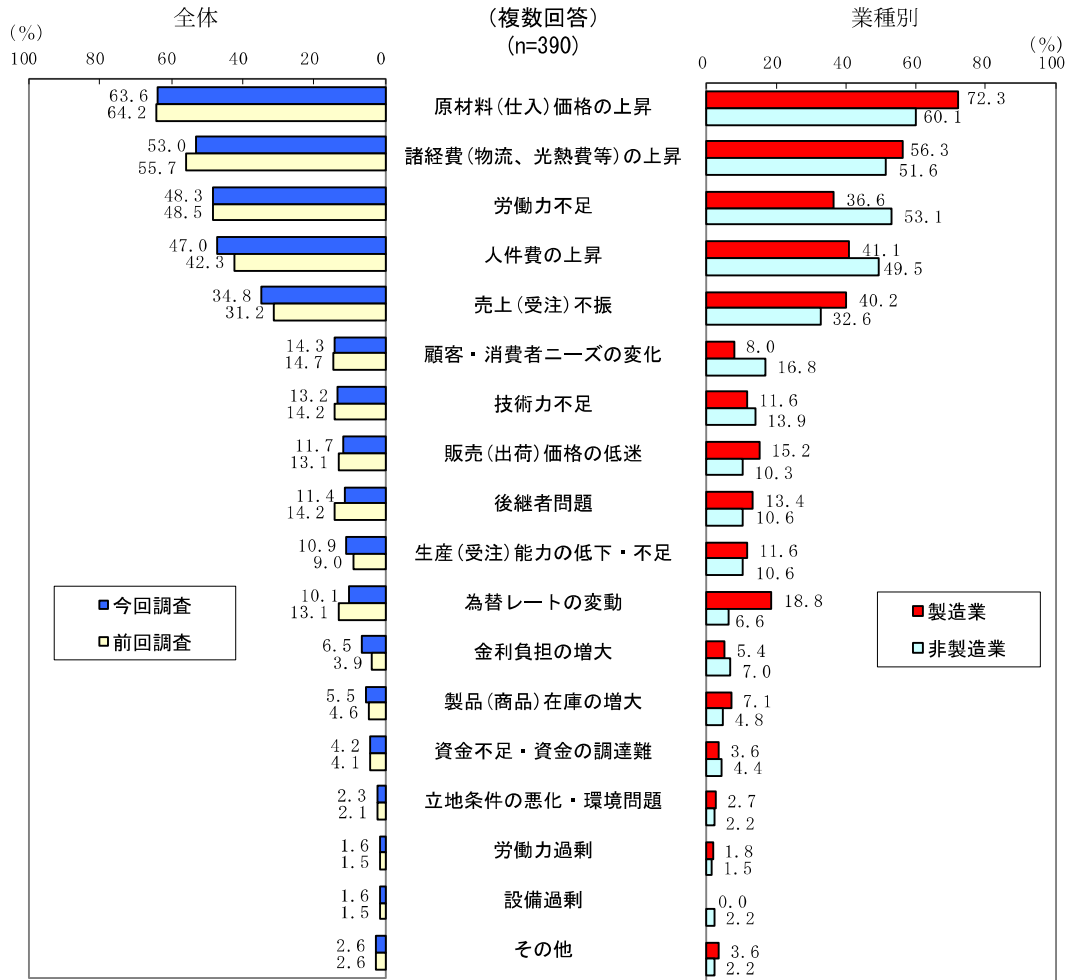
分析方法：B. S. I. による景況判断

注）B. S. I. (Business Survey Index) とは、企業経営者の景況見通しを判断する指数で、アンケート結果の「好転」と「悪化」の差を指数化したものである。プラスであれば、景気が上昇局面、マイナスであれば下降局面と判断している人が多いことを示す。全体が上昇とみれば B. S. I. は +100、全員が下降とみると B. S. I. は △100 になる。

経営上の問題点

「原材料（仕入）価格の上昇」が最上位、「諸経費（物流、光熱費等）の上昇」が続く

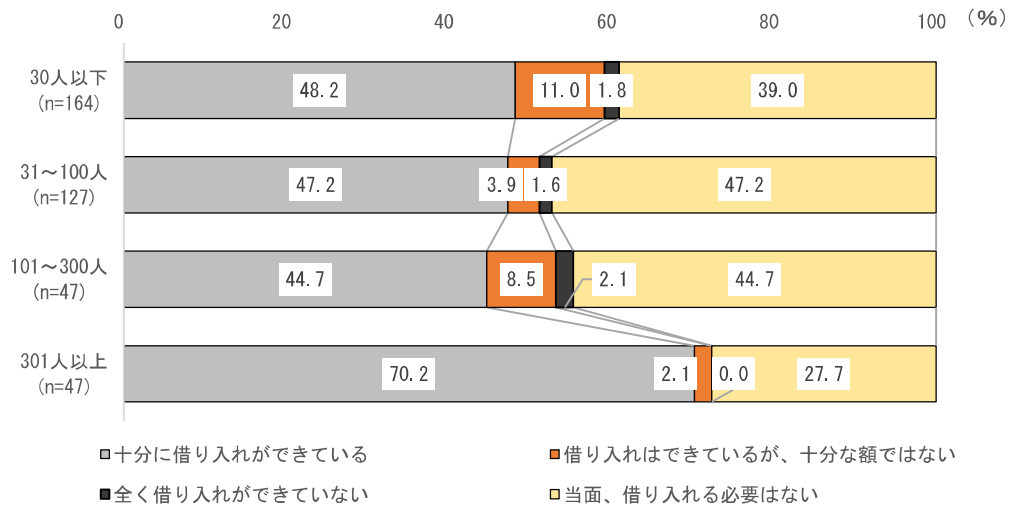
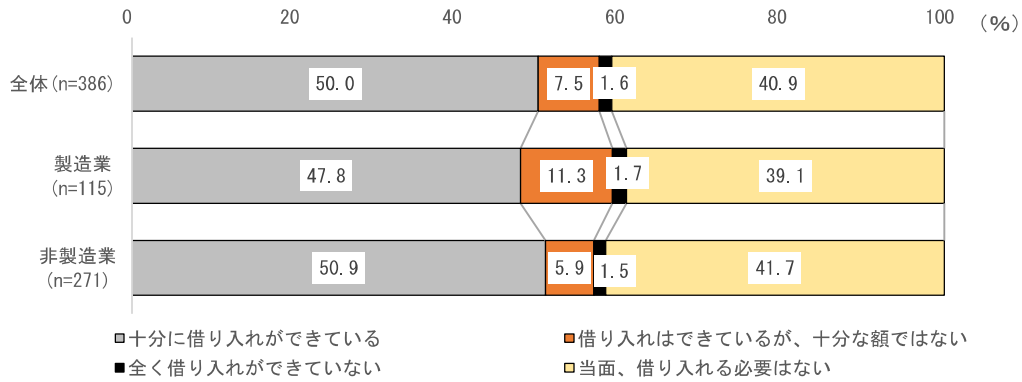
現在の経営上の問題点



現在の金融機関からの借入状況

小規模事業者の一部に資金調達難がみられる

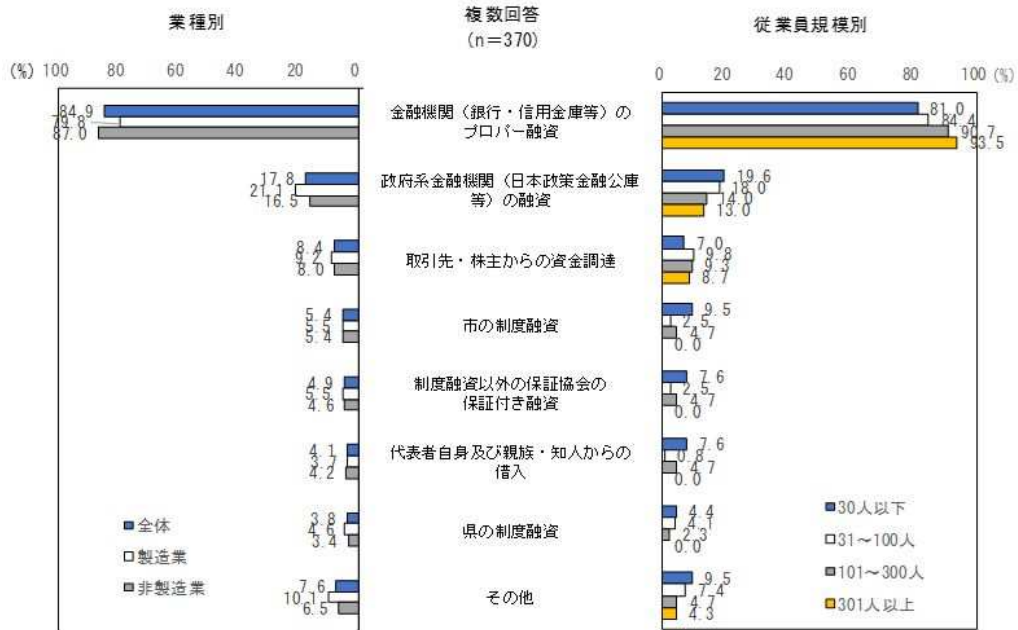
現在の金融機関からの借入状況



主な資金調達先

業種、従業員規模を問わず、金融機関からのプロパー融資が最多

主な資金調達先



融資を受けるにあたっての問題点

「特に問題はない」が7割に上るが、
小規模事業者では利率や保証など問題を抱える

融資を受けるにあたっての問題点

